



残暑が和らぎ、朝夕の空の色風に、少しずつ秋の訪れを感じる季節になりました。
夏の疲れが出やすい9月ですが、体調を整え元気に秋を楽しめるようにしてゆきたいと思います。
毎年9月1日は防災の日、9日は救急の日になんで、9月は防災月間となります。
ご家庭でも万が一に備えた対応について、改めて話し合われてはいかがでしょうか。

災害の備えを見直しましょう

避難場所と避難経路の確認

ハザードマップから、危険な場所を確認し、安全に避難できる避難経路や避難場所を確認しておきましょう。

安否確認方法を決めておく

待ち合わせ場所や緊急連絡先を確認しましょう。

お子さまが登園中に災害が起きた場合は、災害用伝言ダイヤル(171)と携帯電話会社が提供する災害伝言板にてお子さまの様子や避難場所についてご確認ください。



備蓄品・避難バックの確認

災害発生から行政による公的支援が到着するまでにおよそ3日と言われています。
災害備蓄品は最低3日分でできれば一週間分を目安として備蓄することが望ましいです。

□おむつ

普段の使用枚数で計算し、多めに準備しましょう

□おしり拭き

手や身体を拭く際にも役立ちます



□授乳用ケープ・ミルクセット

粉ミルクでの授乳では哺乳瓶とミルクの両方とも殺菌が必要で

液体ミルクは70℃以上の殺菌が不要で調乳せずに飲ませられます

□スプーン・紙コップ・キッチン用ラップ・ポリ袋

災害時、哺乳瓶が消毒できなかった時に、紙コップはカップ授乳にも使えます



□水

1人1日およそ3リットルの水(飲水用+調理用)が必要と言われています(お子さまも同量)

□非常食・レトルトの離乳食

月齢に合ったベビーフードを準備しましょう

食物アレルギーのあるお子さまには、アレルギー対応非常食を備蓄しましょう

◎お子さまが好きな食品や飲み物があると不安な気持ちを和らげることができます

□抱っこひも

避難の際に両手が使えて便利です



□ガーゼ

歯の汚れを落としたり、顔を拭いたりなどにも使えます

□着替え・靴・防寒着

抱っこして避難する際にも歩けるようになったお子さまには靴を履かせておくといでしょう



□おもちゃ

使い慣れたおもちゃがあることでお子さまの安心になります

□母子手帳のコピー

特に「出産時の状態」「乳幼児身体発達曲線」「予防接種の記録」のページのコピーまたは、写真に撮っておくといざという時に便利です

モバイルバッテリー、ホイッスル(濡れていても使えるよう球が入っていないもの)、ヘッドランプ(両手が空くと作業がしやすい)、マスクも備えておくといでしょう。

備蓄食の期限を確認し、食品の入れ替えをしましょう

毎月園では、地震や火事を想定した訓練行っています。
また、災害用伝言ダイヤルのテスト録音の実施、災害伝言板のテスト入力確認の実施を全職員が毎月行っています。
園では、ミルクや非常食、飲料水、寒さ・暑さ対策などの備品を備蓄しています。



10月1日より乳児医療証が更新されます。再度ご提出をお願い致します。